

第4章 みどりあふれる持続可能なエコタウン 第2節 みどり・生物

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト			活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		-	みどりのふれあいウォークとしてのイベント自体については、一定の評価を得る事は出来ているが、緊急事態宣言中の開催は、3密を伴うと判断し共同開催者との協議のうえ中止とした。コロナ禍が落ち着けば来年度開催を再開する予定である。	R2年度に改善した点	15. 陸の豊かさを守ろう			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	4,381千円	3,745千円	①みどりのカーテンコンテスト応募数	みどりのふれあいウォーク参加人数	ふるさとみどりの啓発事業の中で、最も大きく、又、市内住民のみならず、近隣市民も参加する一大イベントとなっているため、参加人数を指標とする。なお、令和元年度以降は、実情に即し毎年2,000人を目標とすることとした。								
	ふるさとのみどり啓発事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②啓発用種子袋の配布数										
		ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市緑の基金条例	4,006千円	2,503千円	③みどりのふれあいウォーク参加人数										
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析										
	期間	H18~	1.45人	0.00人	2000	1855									
			12,052千円	0.10人	R2目標	R2実績									
		1.70人	0.00人	2000	0										
		13,886千円	0.00人	R3目標	2000										
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	みどりのパートナー登録者数を増やし、みどりの保全及び創出を推進する事が当事業の目的となっているため登録者数を指標とする。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を 17. パートナーシップで目標を達成しよう			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	7,685千円	7,032千円	①指導員派遣の回数	みどりのパートナー登録者数	パートナー登録者数を増やし、みどりの保全及び創出を推進する事が当事業の目的となっているため登録者数を指標とする。								
	みどりのパートナー活動推進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②パートナー登録団体数										
		ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例 所沢市みどりのパートナー活動実施要綱、所沢市みどりのパートナー活動支援事業補助金交付要綱	5,046千円	4,472千円	③みどりのパートナー活動補助金										
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析										
	期間	H24~	0.85人	0.00人	1395	1410									
			7,065千円	0.00人	R2目標	R2実績									
		0.90人	0.00人	1400	1500										
		7,351千円	0.00人	R3目標	1405										
環境対策課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	計画通りの調査を実施したため。	R2年度に改善した点	6. 安全な水とトイレを世界中に 14. 海の豊かさを守ろう			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	972千円	759千円	①調査地点数	計画実施率(調査地点/計画地点×100)	市内7地点の調査を3年間で行う計画であることから、当日目標を計画実施率とした。								
	所沢市水生生物調査委託事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②										
		特になし	814千円	781千円	③										
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析										
	期間	R1~	0.29人	0.00人	42.9%	42.9%									
			2,410千円	0.00人	R2目標	R2実績									
		0.42人	0.00人	71.4%	71.4%										
		3,431千円	0.00人	R3目標	100.0%										
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	みどりを保全していくためには土地所有者の協力のもと、一定の土地利用規制を加える地域制緑地の指定を進めることが基本となることから、地域制緑地の指定件数を指標とした。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を 15. 陸の豊かさを守ろう 14. 海の豊かさを守ろう			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	278千円	307千円	①みどりの審議会の開催回数	市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定件数(拡大含)	また、みどりの審議会において、みどりの基本計画に基づく施策や事業の進行管理を行うことにより、みどりの保全や創出に係る施策や事業の推進、展開を図る。								
	みどりの基本計画推進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②ゼネラルマネージャー幹事会の開催回数										
		都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、生物多様性基本法	283千円	104千円											
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析										
	期間	H21~	1.15人	0.00人	1	1									
			9,559千円	0.10人	R2目標	R2実績									
		1.20人	0.00人	2	5										
		9,802千円	0.00人	R3目標	6										

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	管理の必要な緑地面積は増加傾向にあるが、特に緊急性の高い箇所から順番に管理を実施するなど、効率的な保全管理を図ることで目標を達成することができた。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	45,753千円	42,296千円	①業者委託による剪定・伐採等の管理 ②みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理 ③市民参加による保全管理作業	管理作業実施面積	業者委託による剪定・伐採等の管理面積+みどりのパートナーによる除草・清掃等の管理面積+市民参加による保全緑地管理作業面積を指標とする。								
	緑地管理整備推進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市市民の森設置要綱、所沢市市民緑地設置要綱	73,245千円	72,267千円	①19.48ha ②20.27ha ③0.50ha	37ha	36.4ha	達成								
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	R2目標	R2実績								
	地域制緑地の指定をした緑地(市民の森等)や、市が買入れや寄附によって取得した緑地の自然環境や植生、景観を将来に引き継ぐため、高木の剪定、不良木の伐採、除草等、適切な維持管理を行う。また、市民が安全にみどりと触れ合う場を提供するため、市民に公開している緑地の園内柵や外周柵の修繕等を行う。	1.70人	非常勤特別職	0.00人	37ha	40.25ha									
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	37ha									
H6~	2.40人	会年職員	0.00人	19,603千円											
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。引き続き、豊かなみどりを守り育て、未来の子どもたちに継承していくため、緑地保全制度の指定、及び公有地化によるみどりの保全の取り組みを進める。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を	11. 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	66,915千円	65,947千円	①植生調査 ②みどりの公有地化	市域の保全配慮地区における地域制緑地の指定面積	指定面積(平成22年度からの累積(平成29年時点累積55ha)とし、令和10年度までに110haを目指すものである。)								
	里山保全地域等指定整備事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	都市緑地法、ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、ふるさと所沢の緑地の寄附に関する要綱	43,631千円	42,660千円	①9.1ha ②9,989㎡	75ha	85.48ha	達成								
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	80ha	96.65ha								
	市内に残された貴重な緑地を保全し未来のこどもたちにふるさと所沢のみどりを継承するため、緑地保全制度の指定を行うとともに、適切に管理するための方針となる保全管理計画を策定する。また、相続や開発等により消失の恐れがある緑地について、土地の取得(寄附受入を含む)により、公有地化を行う。	1.40人	非常勤特別職	0.00人	85ha										
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	85ha									
H24~	1.55人	会年職員	0.00人	12,660千円											
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	補助金制度については、所有者から一定の評価は得ているが、管理にあたっては補助対象外の経費も生じるため、所有者にとって管理に伴う全体の負担が大きく、指定登録予定数には至っていない。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,719千円	1,283千円	①保存樹木管理の補助件数 ②保存樹林管理の補助件数	ふるさとの樹の指定本数	本事業中、最も希少価値の高い、ふるさとの樹の本数を指標とした。								
	保存樹木等指定促進事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例、所沢市保存樹木等支援事業補助金交付要綱	3,572千円	2,381千円	①4件 ②4件	50	33	市街化区域及びその周辺区域と範囲が狭い事により、新規登録が難しい状況にある。また、現在指定されている樹木についても、高齢化により維持管理が困難となってしまっている事等による。								
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	50	33								
	市街地やその周辺のみどりの永続的な保全を図るため、保存樹木等に対する損害賠償責任保険への加入や保全管理費用の助成による所有者への支援を行う。また、保存樹木等の指定制度について市民に周知し、新たな保存樹木等の指定を行うとともに、市民の保存樹木等の保全に対する関心を高める。	0.65人	非常勤特別職	0.00人	50										
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	50									
H27~	0.80人	会年職員	0.00人	6,534千円											
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	平成30年度中に建設工事に着工する予定だったが、原材料費の高騰などの理由により工事入札が不調・中止となったことから、令和2年度内に建設工事が完成する見込みとなったので、工事の平準化に資するため、令和2年度中に周辺整備工事を発注した。なお、3月には令和3年度の周辺整備工事に向け入札・工事発注を行った。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	13,261千円	12,870千円	①橋建設工事および周辺整備工事	事業進捗状況率	当初、平成30年度で事業終了する予定で指標設定していたが、建設工事入札が不調・中止となったことにより、令和3年度まで事業を延長したため、平成27年度から令和3年度までの事業進捗率を指標とした。								
	狭山湖周辺人道橋整備事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析							
	ふるさと所沢のみどりを守り育てる条例	136,611千円	135,009千円	①橋建設工事が完了した。周辺整備工事についても、発注済み。	70.0%	70.0%	目標達成済み。								
	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	85.0%	85.0%								
	狭山湖や狭山丘陵の散策者及び観光客に、みどりの保全と創出の理解を促すとともに、散策者等が安全に周遊できるようにするため、散策路整備の一環として、狭山湖北東部に位置する緑地帯を縦断する市道5-4号線に景観に配慮した人道橋を整備する。	1.00人	非常勤特別職	0.00人	100.0%										
	期間	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	臨時職員	0.00人	100.0%									
H27~R3	1.30人	会年職員	0.00人	10,618千円											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど				SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)	
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	目標値は未達成ではあるが、保育園の実情を踏まえつつ、芝生化によるヒートアイランド現象の抑制効果や、芝生化したのちの維持管理方法などを丁寧に説明することによって、芝生化が継続出来ている。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を				
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	334千円	330千円	①芝生化実施園数	芝生化実施面積	まちなかのみどりを創出することを目的としていることから、芝生化した面積を指標とする。なお令和3年度より、目標値を実態に即した値に変更した。				R2年度に改善した点					
	根拠法令	630千円	588千円	R2予算現額			R2決算額(見込み)	R2年度に改善した点								
	グリーンカーペット促進事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	H30~	4,987千円	0.60人	0.00人	170㎡	139㎡	当初計画した面積の園庭を芝生化した場合、日々の保育活動に支障が出るのが判明したため、保育園と再度調整を行った上で、園庭の芝生化を実施したため。			どのよう貢献したか					
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①1園	R2目標	R2実績				保育園園庭の芝生化により、地球温暖化防止に寄与した。					
		6,126千円	0.75人	0.00人	160㎡	85㎡										
			6,126千円		50㎡											
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	球根の総数は、前年と同数を配布出来た。	R2年度に改善した点	13. 気候変動に具体的な対策を				
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,622千円	2,536千円	①球根配布数	球根配布施設数	地球温暖化対策の一つとして、球根を各施設に配布している。その施設数を指標としている。				R2年度に改善した点					
	根拠法令	159千円	156千円	R2予算現額			R2決算額(見込み)	R2年度に改善した点								
	みどりの街並み創出事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	H11~	6,234千円	0.75人	0.00人	46	45	令和元年度より、一施設において、植栽場所の確保が出来ず、球根配布・植栽に至っていないため。			どのよう貢献したか					
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①3,000個	R2目標	R2実績				球根の配布により、地球温暖化防止に寄与した。					
		8,168千円	1.00人	0.00人	46	45										
			8,168千円		46											
みどり自然課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	目標は達成している。関係事業の進捗管理を行うため、引き続き、みどりコトコ・プロジェクト会議を定期開催し、関係各課から意見を聴取し、事業間の連携強化に努める。	R2年度に改善した点	3. すべての人に健康と福祉を	13. 気候変動に具体的な対策を			
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	-	-	①関係課数 ②庁内会議開催回数 ③当該年度に完了した関連事業	みどりコトコ・プロジェクト(関連事業)数	水とみどりがつくるネットワーク計画は、関係課等が横断的な取り組みを行うことで、ネットワーク構築の実現を目指すものであることから、進捗管理を行うみどりコトコ・プロジェクト(関連事業)数を指標とする。				R2年度に改善した点					
	根拠法令	0千円	0千円	R2予算現額			R2決算額(見込み)	R2年度に改善した点								
	水とみどりがつくるネットワーク計画推進事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	R2~	0千円	0.00人	-	-	-	達成			どのよう貢献したか					
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①15課 ②1回 ③0事業	R2目標	R2実績				関係事業の進捗により意識を共有し、自然環境への意識高揚やまちの活性化に寄与することができた。					
		4,084千円	0.50人		60事業	87事業										
			4,084千円		60事業											
公園課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を達成している	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを				
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	176,697千円	173,041千円	①用地購入	取得済用地面積	事業の進捗を図るためには、用地確保が最重要となることから用地取得面積を目標値としている。取得面積/用地取得面積25.4ha(R3年度目標)				R2年度に改善した点					
	根拠法令	126,739千円	124,243千円	R2予算現額			R2決算額(見込み)	R2年度に改善した点								
	所沢カルチャーパーク築造事業	事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R1目標	R1実績	R2目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み					
	期間	S61~	10,806千円	1.30人	0.00人	24.23ha	24.23ha	目標達成済			どのよう貢献したか					
			R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①2,014㎡ ② ③	R2目標	R2実績				武蔵野の平地林の保全を行うとともに、希少動植物の保護に貢献した。					
		8,576千円	1.05人	0.00人	24.44ha	24.81ha										
			8,576千円		25.40ha											

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R2)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)		
公園課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値を達成している	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを			
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	0千円	0千円	①事故発生件数	倒木等による事故発生件数	大木化・老木化し、樹勢が衰えた樹木等が倒木する前に間伐を行うことで、市民生活に支障をきたさないようにするため、事故発生件数を目標値とする。								
	公園緑地内樹木間伐事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	②		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	
		都市公園法	21,704千円	21,702千円	③		-	-						目標達成済	
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	実績	R2目標	R2実績								
	公園・緑地において大木化・老木化し、樹勢が衰えた樹木を対象に間伐を行い、道路や周辺家屋等への倒木を未然に防ぐとともに、緑の再生を促すものである。 なお、間伐に当たっては、倒木が発生すると市民生活に支障があるとみられる樹木を対象に実施する。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	①0件	0件	0件									
期間	R2~	2,369千円	0.29人	0.00人	②	0件	③	0件	0件	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか				
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	区域内において、市民団体と市が協働して清掃活動等を行っており、水辺環境が保全されている。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任 つかう責任		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	200千円	200千円	活動団体数	活動団体数	地域に根付いた親しみのある多自然川づくりへの要望があることから、市との協働による多自然の川づくりを行う活動団体数を指標とする。								
	ふるさとの川再生事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	
		特になし	200千円	200千円	2		2	目標達成済							
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	2団体	R2目標	R2実績								
	多自然の川づくりの整備を推進するため、市民団体等と協働し、市が指定した河川・水路の区域を対象として、ふるさとの川再生事業を行う。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	3,740千円	0.45人	0.00人	2							2	
期間	H22~	4,084千円	0.50人	0.00人	R3目標	3			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R2年度に改善した点	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	6,000千円	6,000千円	東川遊歩道整備(H30~R2)	東川遊歩道整備延長(H30~R2) 東川桜枝剪定延長(R3~)	R2年度までは、東川遊歩道整備延長を指標とする。R2年度で遊歩道整備が完了したため、R3年度からは、東川桜枝剪定延長を指標とする。								
	東川桜舞う遊歩道事業(COOLJAPANFOREST構想事業)	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	
		河川法	10,994千円	10,212千円	195m		150m	150m						目標達成済	
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	4,572千円	0.55人	0.00人	R2目標							R2実績
	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、東川沿いの桜を一層魅力的なものにするため、ウッドチップ敷きなどによる遊歩道整備を行うものである。また、東川沿いの桜並木(旭橋から柳瀬川合流点)についても、継続的な維持管理を行っていくものである。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.70人	0.00人	1,490m									
期間	H30~	5,718千円	0.70人	0.00人					事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	R1予算現額	R1決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R2年度に改善した点	11. 住み続けられるまちづくりを	12. つくる責任 つかう責任		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	17,200千円	16,922千円	砂川堀散策路整備	砂川堀散策路整備延長	安全に通行できる散策路整備を進めるため、地元住民や水辺のサポーター制度に登録されている団体等と意見を交換しながら、事業を進めていく。								
	砂川堀水辺保全・散策路整備事業	根拠法令	R2予算現額	R2決算額(見込み)	実績		R1目標	R1実績						R2目標値が未達成の理由・分析	
		所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画	50,800千円	49,997千円	163.38m		60m	66.08m						目標達成済	
		事業の目的及び具体的な内容	R1正規職員人件費	R1その他職員従事割合	4,156千円	0.50人	0.00人	R2目標							R2実績
	子どもたちに「安全で豊かな自然の恵みに出会える場」を引き継ぐため、自然と調和した護岸とともに「水とみどりがつくるネットワーク」を構成する川沿いの散策路を整備するものである。 また、河道内樹木の手入れが行き届かず立ち枯れ、倒木の危険等もあるため、これらの剪定・伐採を行う。	R2正規職員人件費	R2その他職員従事割合	0.85人	0.00人	160m	163.38m								
期間	R1~	6,943千円	0.85人	0.00人	R3目標	200m			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか					